	新規	更新	
_	101000	2011	

193 プラダー・ウィリ症候群

■ 基本情報

■ 本个旧和									
氏名									
姓(漢字)		名(漢字)							
姓(かな)			名	(カップこ)					
住所									
郵便番号		住	師						
1. b→ □ → bb									
生年月日等							1	Ι	
生年月日			西暦	年	月	日	性別	1. 男 2. 女	
出生市区町村									
出生時氏名(変更のあ	る場合)	姓(漢字)		名(漢	漢字)			
			姓(かな)		名(カ	ルな)			
家族歷									
近親者の発症者の有無	Ψ́.	1. あり	2.なし	3. 不明					
		発症者終	売柄 1.父 2.	母 3.子 4.同	胞(男性)	5. 同胞(女性) 6. 祖父(父方)	
		7. 祖母	(父方) 8. 社	11父(母方)	9. 祖母(母	:方)10. い	とこ 11.その他	()	
両親の近親結婚		1. あり	2. なし 3. 不	明 詳細:					
発病時の状況									
発症年月	西暦		年	月					
社会保障	•								
介護認定	1. 要分	1護 2. 要	支援 3. なし				要介護度	1 2 3 4 5	
生活状况								•	
移動の程度	1. 歩き回るのに問題はない 2. いくらか問題がある 3. 寝たきりである								
身の回りの管理	1. 洗面や着替えに問題はない 2. いくらか問題がある 3. 自分でできない								
ふだんの活動	1. 問提	1. 問題はない 2. いくらか問題がある 3. 行うことができない							
痛み/不快感	1. ない 2. 中程度ある 3. ひどい								
不完/ふさぎ込み	:/ふさぎ込み 1. 問題はない 2. 中程度 3. ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる								

■ 診断基準に関する事項

症状の概要、経過、特記すべき事項など

診断時年齢 DNA 診断の適応基準(該当する年齢の項目について、該当するか否かを記載する)

① 出生~2 歳時の場合

哺乳障害を伴う筋緊張低下 1	1. 該当 2. 非該当 3. 不明
------------------	--------------------

② 2~6 歳時の場合

哺乳障害の既往と筋緊張低下	1. 該当 2. 非該当 3. 不明
全般的な発達遅延	1. 該当 2. 非該当 3. 不明

③ 6~12 歳時の場合

筋緊張低下と哺乳障害の既往(筋緊張低下はしばしば持続)	1. 該当 2. 非該当 3. 不明
全般的な発達遅延	1. 該当 2. 非該当 3. 不明
過食(食欲亢進、食べ物への異常なこだわり)と中心性肥満(適切な管理がなされない場合)	1. 該当 2. 非該当 3. 不明

④ 13歳~成人時の場合

知的障害(通常は軽度精神遅滞)	1. 該当 2. 非該当 3. 不明
過食(食欲亢進、食べ物への異常なこだわり)と中心性肥満(適切な管理がなされない場合)	1. 該当 2. 非該当 3. 不明
視床下部性性腺機能低下	1. 該当 2. 非該当 3. 不明
典型的な行動の問題(易怒性や強迫症状など)	1. 該当 2. 非該当 3. 不明

<診断のカテゴリー> (該当する項目に図を記入する)

□確定診断:プラダー・ウィリ症候群責任領域を含むプローブを用いた FISH 法で欠失を認める	
□確定診断:第15染色体近位部のインプリンティング領域 (PWS-IC) のメチレーション試験で異常 (過剰メチル化) が同定されること	

■ 重症度分類に関する事項

1. 小児例(18歳未満) *小児慢性特定疾病の状態の程度に準ずる

治療で補充療法、機能抑制療法その他の薬物療法を行っている	1. 該当 2. 非該当 3. 不明
(成長ホルモン治療を行う場合は、小児慢性特定疾病の備考に定める基準を満たすものに限る)	1. 該当 2. 外該当 3. 个例

2. 成人例

(1)コントロール不能な糖尿病もしくは高血圧(以下の要件のうち、3ヶ月以上継続する項目に図を記入する)	1. 該当 2. 非該当 3. 不明					
□ 適切な治療を行っていてもHbA1c (NGSP値) >8.0 □ 適切な治療を行っていても血圧>140/90mmHg						
(2)睡眠時無呼吸症候群の重症度分類において中等症以上	1. 該当 2. 非該当 3. 不明					
(AHI (Apnea Hypopnea Index) により該当する項目に☑を記入する)	1. 該 3. 不 3. 不 9 1					
□ 軽症(5 ≦ AHI <15) □ 中等症(15 ≦ AHI < 30) □ 重症(30 ≦ AHI)						

■ 人工呼吸器に関する事項(使用者のみ記入)

使用の有無	1.あり				
開始時期	西暦 年	月	離脱の見込み	1.あり 2.なし	
種類	1.気管切開口を介し	た人工呼吸器 2.鼻マスク又は顔	マスクを介した人工呼吸器		
施行状況	1.間欠的施行 2.夜	間に継続的に施行 3.一日中施行 4	.現在は未施行		
生活状況	食事	□自立 □部分介助 □全介助	車椅子とベッド間の移動	□自立 □軽度介助 □部分介助 □全介助	
	整容	□自立 □部分介助/不可能	トイレ動作	□自立 □部分介助 □全介助	
	入浴 □自立 □部分介助/不可能		歩行	□自立 □軽度介助 □部分介助 □全介助	
	階段昇降	□自立 □部分介助 □不能	着替え	□自立 □部分介助 □全介助	
	排便コントロール	□自立 □部分介助 □全介助	排尿コントロール	□自立 □部分介助 □全介助	

医療機関名							
		指定医番号	÷				
医療機関所在地							
		電話番号		()	
医師の氏名							
	印	記載年月日:平成	年	月	日		※自筆または押印のこと

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えありません。 (ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近6ヵ月間で最も悪い状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成27年5月13日健発0513第1号健康局長通知)を参照の上、 ご記入ください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。